

11月

月間指導計画

5歳児



保育目標		作品展に向けて、一人ひとりがアイデアを出し合い、共通の目標に向けて取り組もうとする。 クラス全員での戸外での遊びを楽しみ、仲間を応援したり、遊びの中で協力することを楽しむ。			
子どもの姿		運動会の経験から、チーム対抗の遊びなど、仲間と共通の目標に向かうことを楽しみ、自信を持って様々なことに取り組もうとする。 落ち葉や木の実など秋の自然に関心を持ち、図鑑などで調べて、友だちと話し合っって共有する姿が見られる。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	自分の持ち物に愛着を持ち、整理整頓しようとする。	保育士が管理していたものを徐々に減らし、自分のものとして道具箱やロッカーで大切にできるよう、話し合っって考える機会を作る。	個人の持ち物の名前を読み、友だちに渡すなど、お互いに物を大切にしようとする姿が見られる。	タイミングを見極めながら、全体への言葉がけと、個別の対応を使い分け、整理整頓を意識できるようにする。
	情緒	相手のことを思い、友だちに気を配ろうとする。	困っている友だちに声をかける様子を見守る。 就学前検診が行われる時期なので、期待を持って参加できるように言葉をかける。	就学への期待と不安から、不安定になる子もいる。	保護者の不安な気持ちを受け止め、成長を喜び合う。 近隣の小学校の予定を把握し、無理のない活動時間を設定しておく。
教育	健康	健康に関する絵本や図鑑などを通して、何故大切なのか意識して生活する。	絵本棚に健康に関する絵本や図鑑を設置しておく。 クラス全体で健康について話し合い、実践していることを発表する機会を作る。	冬の感染症など、知っていることを積極的に話している。 家庭での取り組みなど提案している。	冬の寒い時期になってくるので、引き続き手洗い・うがいを意識できるよう、その都度声をかける。
	人間関係	友だちの良さに気づき、認めようとする。	様々な考えや思いがあることに気がつけるよう、一人ずつ発言する機会を多く持つ。	友だちの思いを知りたいと思い、しっかりと聞こうとする。	発言をためらう子もいるので、保育士が少しずつ気持ちを聞き、話し合いに参加しやすい雰囲気を作る。
	環境	戸外でドッチボールや復活鬼ごっこなど、仲間と協力して楽しむ。	積極的に戸外でチーム対抗の遊びを取り入れる。	仲間を助けたり、応援して、協力することを楽しんでいる。	十分に遊びが楽しめるよう、園庭のスペースを確保したり、他学年の保育士と園庭の使用時間などを相談しておく。
	言語	作品展に向けて、思いを出し合っって話し合おうとする。	思いをなかなか伝えられない子の気持ちを受け止め、皆が考えを出せるよう援助する。	自分の経験したことのある技法や作り方、材料など、様々な意見を出し合っって、意見を取り入れようとしている。	子ども主体で進めるが、時には心のよりどころとして、時と場合に応じたかかわりを持ち、子どもの思いをまとめていく。
	表現	クラス全員で協力して、大型作品に取り組む。 今までの経験を生かし、様々な素材を使ったり、細かな所までこだわって作ろうとする。	必要な材料をふんだんに準備しておき、しっかりと取り組めるようにする。 個人の描画活動も取り入れ、運動会の思い出をじっくりと描く時間を確保する。	友だちと協力して、グループごとに担当することを一生懸命取り組んでいる。 皆で作上げたことに自信を持ち、作品展を楽しみにしている。	取り組んできた様子が分かるよう、写真やコメントなど掲示して、保護者にも分かりやすく伝える。 子どもたちと振り返り、頑張ったことを認めて、達成感を味わえるようにする。
食育		勤労感謝の日には、食材や、調理してくれる人に感謝の気持ちを持ち、食事の時間を大切にしようとする。	勤労感謝の日の紹介をして、どのような日であるか話をする。	調理士だけでなく、保護者にも感謝の気持ちを持っている。 さつまいも掘りを話題にして振り返り、食材のできる様子に興味を持っている。	様々な職業があることを知らせ、大人になった自分に興味を持てるような言葉をかける。
健康・安全		自分から健康について知り、感染症の予防を意識した生活をする。			
保護者支援		就学前検診控え、不安になる保護者もいるので、気持ちを受け止めながら、成長を喜び合う。			